

服用前にこの説明文書を必ずお読みください。  
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

**第2類医薬品**

漢方薬 <sup>はち</sup>八 <sup>み</sup>味 <sup>がん</sup>丸 ダイコー

中・高年になると各臓器、器官の働きが衰えはじめ「疲れる、腰から下が冷える・痛む・しびれる、目がかすむ、尿の出が悪いまたは多い、夜間の排尿回数が多い」などの症状が多くみられます。これらは漢方という「腎」の働きの衰えによるものと考えられています。八味丸は古くから腎気丸とも呼ばれ、「腎」の働きの衰えを回復させることによって、これらの症状を改善するために用いられる漢方薬です。



**使用上の注意**



**してはいけないこと**

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります。) 次の方は服用しないでください。

- (1) 胃腸の弱い人
- (2) 下痢しやすい人



**相談すること**

1. 次の方は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。
  - (1) 医師の治療を受けている人
  - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
  - (3) のぼせが強く赤ら顔で体力の充実している人
  - (4) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	食欲不振、胃部不快感、腹痛
その他	動悸、のぼせ

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。  
下痢
4. 1ヵ月位服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。

**【効能又は効果】**

体力中等度以下で、疲れやすくて、四肢が冷えやすく、尿量減少又は多尿でときに口渴があるものの次の諸症：

下肢痛、腰痛、しびれ、高齢者のかすみ目、かゆみ、排尿困難、残尿感、夜間尿、頻尿、むくみ、高血圧に伴う随伴症状の改善（肩こり、頭重、耳鳴り）、軽い尿漏れ

(裏面をお読みください)

## 【用法及び用量】

年 齢	1 回量	1 日服用回数
大人(15歳以上)	10丸	3 回
15 歳 未 満	服用しないこと	

食間又は空腹時に水又は温湯にて服用する。  
添付のさじで1回量をはかってのおみください。

—食間とは…

食後2～3時間を指します。

〈用法及び用量に関連する注意〉

用法及び用量を厳守してください。

## 【成分及び分量】

30丸(6,000mg、1日量)中

成 分	含 量	成 分	含 量
ジ オ ウ 末	1,040mg	ブ ク リ ヨ ウ 末	390mg
サ ン シ ュ ユ 末	520mg	ポ タ ン ビ 末	390mg
サ ン ヤ ク 末	520mg	ケ イ ヒ 末	130mg
タ ク シ ャ 末	390mg	炮 附 子 末	130mg

添加物としてハチミツ、コメデンプン、白色セラックを含有します。

〈成分及び分量に関連する注意〉

本品は天産物を原料としているため、色調、味又は香り等に多少の差異が出る場合がありますが、効果にはかわりありませんので安心して服用してください。

## 保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) 本品はハチミツを入れて製丸しておりますので、容器中で丸剤同士が離れにくいことがあります。成分には問題ありませんので、軽く振ってご使用ください。

本品についてのお問い合わせは、  
お買い求めのお店又は下記にお願いいたします。

**大晃生薬株式会社 試験室**

電話：フリーダイヤル 0120-335064

受付時間：9時～12時、13時～17時(土・日・祝日を除く)

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独) 医薬品医療機器総合機構

<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>

電話：フリーダイヤル 0120-149-931



**大 晃 生 薬 有 限 会 社**

〒464-0084 名古屋市千種区松軒一丁目5番12号